



Vol.63

# 生田緑地マネジメント会議ニュースレター

発行日:令和8(2026)年1月

発行者:生田緑地マネジメント会議事務局

## 令和7年度 第3回運営会議を開催しました

令和7年12月19日(金) 17:30~20:00



第3回運営会議

生田緑地東口ビジターセンターにて第3回運営会議が開催されました。参加団体数18団体+委任状9名、Zoom8名、計27団体、傍聴3名、総参加者数45名となりました。

### ◆協議事項

- ・令和8年度の生田緑地マネジメント会議日程案について  
令和8年度マネジメント運営会議日程案について承認されました。

①5/29(金) ②10/2(金) ③12/18(金) ④2/12(金) / 全体会議 3/14(日)

### ◆報告・共有事項

#### 1.『生田緑地マネジメント会議向け東地区説明会』開催報告(11/18 実施)

(市民文化振興室／みどり・多摩川事業推進課)

11月18日に開催された東地区説明会には、マネジメント会議メンバー14名が参加し、生田緑地ばら苑および新たなミュージアムの整備・運営に関する検討状況が共有されました。



##### (1)生田緑地ばら苑管理運営整備方針の検討状況について

事業者ヒアリングを通じて整備条件の精査を進めています。物価高騰や人手不足、入札不調リスクを踏まえ、管理運営方針の策定時期を「令和7年度内」から「令和8年度夏頃」へ延期しました。今後は、現在のばら苑位置での継続と、隣接する臨時駐車場位置への「新たなミュージアム」配置を前提に検討を進めます。

##### (2)新たなミュージアムの検討状況について

「川崎を総合的に知る空間」を目指し、体験型展示の導入や、収蔵庫の一部をガラス張りとするなど新たな鑑賞体験を検討しています。管理運営計画の策定時期は、ばら苑と同様に令和8年度夏頃へ延期しました。

△質疑応答・ご意見等:

- ・地元住民には説明会の実施自体が十分に伝わっていない。町会連合会等での説明の場が必要と考える。  
→ 市:地元説明の重要性は認識しており、説明の時期や手法について相談しながら進める。

#### 2.新たなミュージアム建設・ばら苑再整備に伴う環境アセスメントについて(市民文化振興室／みどり・多摩川事業推進課)

環境アセスメントの調査方針について報告がありました。猛禽類(オオタカ、ツミ等)は巣立ちを含め約3年を要するため、事業着手前に市が先行して調査を開始します。調査手法については、自然会議の意見を踏まえ調整中です。調査は、開発予定地に加え周辺の森を含む広範囲を対象に、哺乳類・鳥類・昆虫・両生類・爬虫類・植生・キノコ類等について、四季を通じて実施します。

△質疑応答・ご意見等:

- ・単なる生物リストではなく、生態系や地形との関係性を分析し、将来の管理運営に活かすべきだ。  
→ 市:過去事例も参考に、調査結果を管理・整備に資する形で整理する。
- ・調査結果に応じて、整備計画自体を修正する姿勢が必要である。

### 3. ばら苑再整備に伴う既存株の取り扱いについて(生田緑地ばら苑ボランティア会)

再整備により処分されるばら株について、市民への配布・移植の提案がありました。長年育ててきた株を活かしたいという想いが共有される一方、根頭がんしゅ病の感染拡大リスクや、行政が配布することの法的・倫理的責任が懸念されました。結論として、専門家の知見を踏まえ、想いは共有しつつも、配布の可否や代替案(消毒・チップ化等)を含め、慎重に検討を継続することとなりました。

#### ◇質疑応答・ご意見等:

- ・大切にお手入れしてきた株なので、ただ廃棄するのではなく活用方法を考えたい
- ・根頭がんしゅ病を持った株を配布してよいのか、市がバラの専門家などに確認した上で、慎重に検討する必要がある
- ・公共施設のばら園を見学し、勉強会を開きたい
- ・ばら苑のあり方について、改めて考える場が必要ではないか

### 4. 「生田緑地わくわく絵図」解説版についてのお知らせ(みどり・多摩川事業推進課)

昨年度作成したイラストマップ「生田緑地わくわく絵図」について、描かれている生き物や歴史、活動内容を紹介する解説版が完成しました。今後、活用方法を検討していきます。

### 5. 12月23日(火)「生田緑地憲章を考える連続講座(第2回)」開催のお知らせ

#### 生田緑地憲章「持ち込まない」について(倉本+応植研／事務局)

今回の連続講座は憲章の中の「持ち込まない」をテーマに開催します。

講師:東京大学大学院農学生命科学研究科 斎藤陽子准教授 / 景域計画株式会社 代表取締役 八色宏昌氏

倉本様:「遺伝的攪乱(地域個体群の維持)の観点から、苗木の持ち込みルール等をどう運用すべきか。『持ち込まない』は外来種だけでなく、同じ種でも他地域の遺伝子を持つ個体を入れないことが重要である。事業者が施工時に持ち込む植物のチェック体制についても、マネジメント会議が関与できるプロセスを確立したい。」

### 6. 12月22日(月)県立向の岡工業高等学校による「くらやみ坂口」入口看板の設置について(事務局)

地域連携の一環として実施している同校の生徒が製作した「くらやみ坂口」木製看板の設置式を12月22日に行う。

### 7. 枝形山広場と梅園の補植について(事務局)

枝形山広場…枯死した桜の更新を実施します。今年度中に2~3本の補植を検討しています。梅園…枯死した梅の補植を継続して実施します。日本梅の会と連携し、希少品種を含めた100本を目指して、計画的に進めています。

### 8. ばら苑秋の一般開放について(川崎市公園緑地協会)

開催期間:10月16日~11月3日(19日間) 来苑者数:30,363名

杉本苑長:「夏の記録的猛暑の影響で開花が大幅に遅れましたが、多くの方に来場いただき感謝しています。」

### 9. 令和7年度 生田緑地マネジメント会議全体会のご案内(事務局)

日時:令和8年3月15日(日)13:00~15:00 / 会場:多摩区役所11階 会議室

第2部講演会講師:明治大学農学部教授 倉本+応植研 倉本宣先生

### 10. その他報告

「お月見フェスタ」(10/4実施) / 「まちなか向日葵しばり隊 宇宙へ」(11/24実施) 開催報告(指定管理者)

### 11. その他ご意見・感想など

- ・パブリックコメント「川崎市みどりの将来像(案)に関する意見募集について」12/1~1/23まで実施している。
- ・藤棚の再生を検討してほしい。
- ・公園などのあり方について市民や行政が一緒に考える場があるといい。
- ・東地区やばら苑のばら株の今後について、市民が納得できるような方向になるよう、慎重に検討をお願いしたい。他

～生田緑地ビジョン基本理念(生田緑地のめざす将来像)～

『豊かな自然・文化・人・まちが共に息づき みどりがつなげる持続可能な生田緑地の実現』

お問い合わせ先:生田緑地マネジメント会議事務局

生田緑地東口ビジターセンター TEL:044-933-2300 川崎市建設緑政局生田緑地整備事務所 TEL:044-934-8577